

ぼくあんべんぎゅうどう ろかいさくこうぐ  
**牧庵鞭牛道路開削工具**

- ◇ 指定日 昭和51年4月21日
- ◇ 所在地 茂市(新里生涯学習センター)
- ◇ 所有者 個人

これは牧庵鞭牛の生家に伝来した鞭牛使用の工具類（ゲンノウ・ツルハシ・アサリ・スイサビなど）で、岩を砕くゲンノウは球形の鉄塊状に変形し、難工事を物語るものとされます。

ゲンノウは金槌のことで、鞭牛の使用したものは小型のサイズとなっています。

ツルハシは風化した岩石を崩すときに用いる道具です。

アサリは道のない藪やぶの中を歩くとき柴などをなぎはらう道具で、鉄棒をL字型に曲げたものを長めの柄にはめて使用します。

スイサビは円錐の形をした鉄でできた大型の道具で、地面に突き刺し、穴を掘ったり、割れ目に差し入れたりしてテコのように使用しました。

